

# ぱる★キッズ探険隊

冬のテーマは、  
《**温かい・冷たい**》です！



冷たいものには、  
自然物を閉じ込めた氷を使用しました。  
葉や木の実、可愛いものがたくさん入っているのですが、ずっと持っていられないくらい冷たいです…！



温かいものには、  
ろうそくの火を使いました。  
“火は少し怖い”というイメージもありますが、安全な環境の中で関わると火の温かみや、ゆらぎの素敵さに気付ける貴重な体験でした。

土は温かい  
でもお花は冷たい



落ち葉は温かいね



木は温かいね

では！実際に戸外へ出て、  
**温かいもの・冷たいものを探してみよう！**

近くの稲荷木公園へ出かけ、公園内の温かいもの・冷たいもの探し。保育者と一緒に触る中で、**“木が温かい”**ことに気が付きました。その後、他の子たちは別の活動へ移っていきましたが、1人の子が、「先生！あっちの木も触りたい！来て！」と保育者を誘い、別の種類の木を触りに行くことにしました。始めの木は温かかったのに、2つ目の木はなんと**冷たかった**のです！「なんで同じ木なのに、あつたかいのと冷たいのがあるの!？」と大きな疑問が生まれました。するとそこから、**“温かい木の中にも、違うところがあるかもしれない”**と、疑問から発想を膨らませ、温かい木を徹底的に触っていくと…**“木の苔の生えている部分が一番温かい”**ということを導き出しました。目で見ても、手で触って、考えて、伝えて。1つの子どもの興味の中で、たくさんの力を使って考える姿に、成長を感じるとともに感動しました。

(※村松先生に伺った所、1つ目の木はコルク形成層が厚く断熱性がある木。2つ目の木は、それが発達していないので、樹皮のすぐ近くの水分で冷たく感じるとのこと。手で触れて感じたことが、実際の性質と同じ結果となり、子どもの力の可能性を強く感じました！)

重ねると…？



ろうそくの上に、氷を乗せてみると…火が消えることもあったり、少しずつ氷が溶けて水になったり。  
“どうなるのかな？”と好奇心いっぱい、真剣な表情で見つめていました。

ぱる★キッズ探険隊の後…木の面白さや不思議さに興味を持った子どもたち。公園へ行くと、木のそばに駆け寄り、楽しいこと探しをするようになりました！



切り株の上で  
小枝と木の皮で  
おままごと



はがれたケヤキの  
木の皮パズル



コンコンコン